

岐阜県嚥下障害研究会 モグモグ通信 No. 25 (2015. 1 発行)

3月の研修会
「活動報告
と講演会」へ
是非ご参加
ください！



発行所：岐阜県嚥下障害研究会
事務局：土岐市立総合病院 ST 室

研究会の今後の取り組みについて

岐阜県嚥下障害研究会
豊島 義哉

第17回学術講演会 岐阜・西濃大会は県内外から約300名の参加を頂き、後援は岐阜県、岐阜県医師会、岐阜市医師会、岐阜県歯科医師会、岐阜県看護協会、岐阜県栄養士会、岐阜県診療放射線技師会、岐阜県歯科衛生士会、岐阜県理学療法士会、岐阜県作業療法士会、岐阜県言語聴覚士会、岐阜県老人福祉施設協議会、岐阜県老人保健施設協議会、岐阜県居宅介護支援事業協議会、岐阜県デイサービスセンター協議会、岐阜県身体障害者福祉施設協議会から頂き盛会な会になりました。大会テーマは「誰もが楽しく食べ続けるために～食べることへの支援、キュアからケアへ～」として、食べることへの取り組みを治療的な側面（キュア）のみでなく、日常生活全般にわたる支援（ケア）の一部として皆さんと考える機会となりました。

特別講演では認知症の摂食嚥下リハビリテーションにおいて第一人者である大阪大学歯学部附属病院の野原幹司先生にご講演をいただきました。野原先生は現在研究が進んでいる摂食嚥下リハビリは急性期から回復期が対象であり、維持期や認知症者には当てはまらない内容が多い。維持期や認知症者へは治療するのではなく、残存機能をいかに生かして支

援する
かであ
る。ま
た、認
知症は
ひとく
くりに



してはいけないと話され、アルツハイマー型、レビー小体型、そして高齢者に多くみられるパーキンソン病の特徴、その対応を整理し、認知症やパーキンソン病、終末期の方にどう寄り添うかのご教示をたくさん頂きました。午後のシンポジウムでは「認知機能への支援を考えるー小児から高齢者までー」と題し、認知機能（先行期への支援など）にスポットを当て、野原先生にも助言者として参加していただき、小児から高齢者に渡る様々な立場の方からその取り組みをご報告して頂き、その後、討論を行いました。1. 不安に寄り添い楽しい食事環境を支援すること。2. 本人主体の個別の支援には多職種の協働、情報共有の工夫が必要であるとまとめ、午前、午後と有意義な学術講演会になりました。

研究会発足からこれまでは、「摂食嚥下障害に関心を持つ医師、歯科医師、看護師、保健師、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、栄養士、介護職員、教諭、保育士、支援員などが、その理論と実際について研修および意見を交換し、摂食嚥下障害児者のQOLの向上のため、摂食嚥下機能療法の充実・発展に貢献することを目的」としてきました（会則より）。

学術講演会は、輪番制で県内5圏域を研究会役員が声掛けを行い、それぞれの地域特性に合わせて実行委員会を構成し、各団体、協議会から後援を頂き、企画運営を行ってきました。18年目を迎え、会員も360名にのぼり、職種も多職種にわたり、それぞれの地域で摂食嚥下障害に対してコーディネータの役割を果たす会員も少なくありません。

研究会の今後の取り組みとして、これまでの学術講演会、成人領域・小児領域の研修会に加え、小児、成人、高齢者すべての年齢を網羅した摂食嚥下障害児者のおくすり手帳ならぬ、のみこみ手帳：仮称（日本摂食嚥下リハ学会では嚥下パスポート）を、県内全域で取り組んでいきたいと考えています。

初級課程講習会 感想レポート

講習会に参加して

木沢記念病院
言語聴覚士 石川明奈

私は、木沢記念病院で言語聴覚士として勤務して2年目になります。初級課程の講習会への参加は昨年しており、今回で2回目になります。2年目になり、前回参加したときから、いろいろな嚥下障害の患者さんを担当させてもらいました。誤嚥性肺炎で再入院される方や認知機能が低下し、食事が進まない方など、どのように対応してい

たらよいか悩むことも多くなりました。参加し



ようか迷っていたところもありましたが、改めて嚥下について勉強する良い機会だと思い参加しました。

担当している患者さんは、誤嚥のタイプとしてはどうなのか、代償手段や訓練方法は他にないだろうかなど、実際の患者さんを想像しながら、昨年とは違った視点で講義を聞くことができました。学生の時にも、昨年も聞いたことのある内容も、実際の患者さんを想像することで内容の理解の仕方が違ってくると感じました。

ハリスベネディクトの式を使って自分の必要エネルギー量の計算する機会もありました。式は知っていましたが実際に計算したことはなかつ

日時：平成26年8月31日（日）9時30分～16時

会場：タウンホールとみか（富加町）

内容：1. 摂食嚥下のメカニズム

2. 摂食嚥下障害者の加齢による影響

3. 摂食嚥下障害の評価

4. 間接訓練、直接訓練

5. 小児の摂食嚥下障害（発達と指導）

6. 血液生化学データの基礎知識

7. リスク管理：低栄養、脱水、口腔ケア

8. 口腔ケア演習

講師：加藤孝憲 土岐市立総合病院 研究会副会長

柴田一浩 県立希望が丘学園 研究会理事

川口千治 朝日大学附属病院 研究会理事

豊島義哉 国立病院機構東名古屋病院 会長

たです。活動量やストレスでの変動が自分に必要なエネルギー量で想像することで、実感しやすかったです。染出しの体験もあり、自分の歯の磨き残しの多さに驚くとともに、しっかりと汚れを落とすのには普段の倍、それ以上の時間をかける必要があるとわかりました。日頃の歯磨きを見直し、まずは自分の歯をきれいに磨けるようにならなければと思いました。

翌日から臨床に生かせる知識を習得でき、2回目の初級課程の講習会は有意義なものとなりました。

会費納入はお済みですか？

納入金額：年会費 1,000 円

未納者は宛名ラベルの西暦横に未と記しています。

振込先：郵便振替 加入者 岐阜県嚥下障害研究会
口座番号 00890-3-114142

- * 通信欄に「〇〇年度分会費」とご記入願います。
- * “振替用紙の控え”をもって 会員証とします。
- * **2年間会費を滞納すると、退会となります。**

（注）未入会者は 入会申込み手続きが 別途必要！
問合わせ：土岐市立総合病院リハビリテーション部
言語聴覚士 加藤まで

メール または FAX 0572-54-8488

Mail: gifukenengesyougaikenkyukai@yahoo.co.jp

役員名簿 25年4月～28年3月

会 長	豊 島 義 哉	国立病院機構 東名古屋病院 リハビリテーション部 言語聴覚士長 / かも ことばとこころの相談室 代表 言語聴覚士
副会長	玄 景 華	朝日大学 歯学部 口腔病態学講座障害者歯科学分野 教授 歯科医師
//	加 藤 孝 憲	土岐市立総合病院 リハビリテーション部 主任 言語聴覚士
理 事	林 哲 次	岐阜県歯科医師会 地域医療委員会 歯科医師
//	柴 田 一 浩	岐阜県立希望が丘学園 児童発達支援センター 技術主査 言語聴覚士
//	田 中 一 枝	飛騨慈光会 障がい児入所施設 山ゆり学園 施設長
//	安 田 香 実	各務原市福祉の里 支援課長 言語聴覚士
//	岡 村 秀 人	中濃厚生病院 リハビリテーション科 主任 理学療法士
//	川 口 千 治	朝日大学附属病院 歯科衛生士長 歯科衛生士
//	伊 藤 仁 美	管理栄養士
//	栗 木 みゆき	多治見口腔ケアグループはねっと 代表 歯科衛生士
//	植 木 敏 子	高山厚生病院 主任 摂食・嚥下障害看護認定看護師
//	田 中 さとみ	岐阜県総合医療センター 看護師長 / 摂食・嚥下障害看護認定看護師
//	阿 部 忍	サンバレーかかみ野 リハビリテーション部リーダー 言語聴覚士
//	品 川 康一郎	多治見市民病院 リハビリテーション課 主任 言語聴覚士
//	鈴 木 勝	山内ホスピタル リハビリテーション科 責任者 言語聴覚士
//	安 田 順 一	朝日大学歯学部 口腔病態学講座障害者歯科学分野 講師 歯科医師
//	二 村 洋 代	岐阜県立多治見病院 主任 摂食・嚥下障害看護認定看護師
//	藤 井 重 子	白川病院 歯科 / 岐阜県歯科衛生士会 副会長 歯科衛生士
監 事	長谷川 信 乃	朝日大学歯学部 口腔構造機能発育学講座小児歯科学分野 講師 歯科医師
//	渡 辺 真実子	太田病院 栄養科 科長 管理栄養士

第3回研修会（活動発表・講演）のご案内

日 時：平成27年3月7日（土） 13：30～16：30（13：00から受付）

場 所：朝日大学 1号館3階 第4大講義室 岐阜県瑞穂市穂積1851-1

内 容：1. 活動発表

- ①「訪問歯科診療の取り組み」 岐阜県歯科医師会 歯科医師 萩谷 勅信氏
- ②「岐阜摂食・嚥下多職種連携研究会（ごっくんネット）の活動報告」
山内ホスピタル 言語聴覚士 鈴木 勝氏
- ③「地域における嚥下調整食・摂食方法について情報共有の取り組み」
岐阜県立多治見病院 看護師 二村 洋代氏

2. 講 演

「訪問歯科衛生士としての地域で17年間の取り組み～小児、成人、高齢者～」

多治見口腔ケアグループはねっと 歯科衛生士 栗木 みゆき氏

参加費：会員 500 円 非会員 1,000 円 学生 500 円（当日徴収）

第17回学術講演会 岐阜・西濃大会 26.11.30

誰もが楽しく食べ続けるために



野原幹司先生



シンポジウム



《午前》特別講演『認知症の摂食・嚥下リハビリテーション』

講師 大阪大学 歯学部附属病院 医長 野原幹司 先生（歯科医師）

《午後》シンポジウム『認知機能への支援を考えるー小児から高齢者までー』

- ・ 齋藤 佑規氏 各務原市福祉の里つくし（言語聴覚士）
- ・ 藤井 美和氏 第二いぶき（支援員）
- ・ 伊藤 育子氏 大洞岐協苑（管理栄養士）
- ・ 服部 優香理氏 平成医療専門学院（作業療法士）
- ・ 伊丹 和美氏 山田病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師

★指定討論 意見交換 野原幹司氏（歯科医師） 豊島義哉（本研究会長）



↑ 齋藤 佑規氏



↑ 伊藤 育子氏



↑ 伊丹 和美氏



↑ 藤井 美和氏



↑ 服部 優香理氏

嚥下食・
歯科関係
サンプル
配布

柴田大会長とスタッフ一同



ー 編集後記 ー 春からはホームページを立ち上げることにになりました。学術講演会、研修会のご案内、モグモグ通信のアップ、活動報告などを計画しています。ご期待ください。TOYO